

セラミック印刷ガラスのご注意



ご注意

- ① 熱処理によって加工された製品ですので、製造後の切断および孔あけ、面取り、切り欠き、曲げなどの加工はできません。寸法および形状は正確にご注文ください。その他一般的な性質や取り扱いには強化ガラスおよび倍強度ガラスに準じます。
- ② セラミック印刷ガラスは片面印刷のみとなります。印刷面は必ず室内側に向けて施工してください。
- ③ プレーンのパターンを透過光でご使用の場合、印刷ムラが生じることがありますので、予めご了承ください。
- ④ 塗装面を硬いものでごするとすり傷がつくことがあります。この傷は修復できませんのでご注意ください。
- ⑤ 塗装面の汚れがひどい場合は、液状中性洗剤を水で希釈した液で汚れを落とし、水洗いをしてください。この場合、材質の硬い清掃器具、磨き粉のような砥粉を含んだ洗剤や酸性、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
- ⑥ 倍強度ガラスタイプは、人体や物体が極めて大きいエネルギーで衝突した場合は、フロート板ガラスと同様に多数のクラックが生じ、破片が脱落することがあります。このような衝突の起こりやすい部位への使用は避けいただくか、衝突を防止する措置を講じてください。
- ⑦ 熱処理をしているため通常の板ガラスと比べて、反射映像や透視映像のゆがみが大きくなりますので、予めご了承ください。
- ⑧ 光の当たる角度と見る角度によっては、ガラス表面に偏光による特殊な模様が見えることがあります。製造上避けられない現象ですので、予めご了承ください。
- ⑨ ガラス面やエッジに傷をつけると、強度が低下します。通常の板ガラスと同様に扱ってください。
- ⑩ ガラスの表面やエッジに深い傷が入ると破損することがあります。
- ⑪ ごくまれに外力が加わっていない状態で不意に破損することがあります。P.32の「強化ガラスを安全にお使いいただくために」をご参照の上、不意の破損による被害の発生を防止するようご配慮ください。
- ⑫ フロート板ガラスと比較して、表面が傷つきやすいため、クリーニングの際にカッターや金属製のスクレーパーなどは使用しないでください。スクイージ（ガラス清掃用水切り器具）の金属部分がガラスに触れないようご注意ください。
- ⑬ その他、ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2～5の「ガラスを安全にご使いいただくために」をご参照ください。



設計・施工上のご注意

- ① 「強化ガラス・倍強度ガラスの標準施工法」に準じて施工してください。
- ② ガラスのエッジ部や孔あけ部はサッシなどの金属部との接触を絶対に避けてください。
- ③ セラミック印刷ガラスの使用部位は容易に日常点検が可能な箇所に限定されることを推奨します。
- ④ 強化ガラス・倍強度ガラスの「設計・施工上のご注意」をご参照ください。
- ⑤ その他、ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2～5の「ガラスを安全にご使いいただくために」をご参照ください。

Fタペスティのご注意



使用上のご注意

- ① クリーニングは、清潔な乾いた柔らかい布やスポンジなどをご利用ください。磨き砂の入った洗剤のご使用は避けてください。
- ② 模様面に水分が付着すると透けて見えることもあります。



設計・施工上のご注意

- ① フロート板ガラスと比べて同じ呼び厚さでも強度が低下します。

ルネステンドのご注意



使用上のご注意

- ① 着色面をクリーニングする際は、柔らかい布やスポンジに水かぬるま湯をひたして拭いてください。熱湯や中性洗剤の使用は避けてください。



設計・施工上のご注意

- ① 退色、変色の原因となりますので、必ず着色面を室内側に向けて施工してください。
- ② 外装または浴室などにご使用になる場合は、ガラスの小口に水が浸透しないように十分なシーリングを行ってください。
- ③ 外装の使用条件によっては、ルネステンドの色柄が変色することがあります。
- ④ シーリング材は、シリコーン系シーリング材の使用を推奨いたします。
- ⑤ 照明の熱を直接受ける場合、ガラスの熱割れが生じる恐れがあります。設計・施工については、照明の熱を直接受けるような使用は避けてください。特に網入板ガラスの使用はご注意ください。条件によっては、合わせガラスの使用、飛散防止フィルム貼付などにより万一割れても破片が脱落しないよう措置を講じてください。